

平成11年3月策定『史跡小牧山整備基本計画基本構想』（現行基本構想）の実施状況、課題及び修正基本構想における取り扱い案

6. 整備のための条件			
旧基本構想掲出事項	実施状況	課題	修正基本構想における取り扱い
a) 遺構の把握とそのための発掘調査			
現況地形測量図の作成	作成済。		削除。
発掘調査の実施とその成果の活用	実施している。	継続していく必要がある。。	継続。
関連資料調査、収集の実施	実施している。	継続していく必要がある。	継続。
b) 文化財調査研究体制の強化			
(仮称) 史跡センター準備室の立ち上げ	小牧山城史跡情報館設置済。		削除。
文化財研究人員の増員	考古学専門員2名増員(文化財課、小牧山課兼務)。	現人数あるいはそれより多くの人数を確保していく必要がある。	継続。
c) 市民コンセンサスの確立			
インターネット等による小牧山整備計画の情報提供	市HPにて実施している。	継続し、さらに充実していく必要がある。	継続。
資料収集窓口の開設	寄附等の申し出があれば、小牧山課、文化財課にて実施。	現状からみてあえて設置する必要はない。	削除。
市民歴史・文化サークルの育成	観光協会や小牧山城史跡情報館で募集したボランティア、それ以前からのボランティア団体が	ボランティアと協働していく必要がある。	ボランティアと協働していく。

	ある。		
調査・計画説明会等の開催	調査説明会は実施している。 計画説明会は実施していない。	継続していく必要がある。	継続。
d) 関連計画との調整、連携と小牧山を核とする一体的な環境整備			
小牧山関連計画連絡調整会議の設立	未着手。	現状から、調整会議の設立は必要ない。	削除。関連計画との調整、連携を図ることは継続。

7. 整備の方向			
旧基本構想掲出事項	実施状況	課題	修正基本構想における取り扱い
a) 歴史理解を促すわかりやすい整備			
重点地点の復元整備	中学校跡地、市役所跡地整備で実施。主郭地区整備で実施予定。	継続していく必要がある。	継続。
大手道等の園路再整備	未着手。	現状で傷みが激しい部分があり、早期着手の必要がある。	継続。
サイン等情報手段の充実	整備実施範囲で実施している。	継続していく必要がある。	継続。
便益施設の設置	整備実施範囲で実施している。	設置場所の状況等を勘案して継続して進めていく必要がある。	継続。
b) 中学校跡地整備計画の立案と早期整備			
遺構復元	実施済。		削除。
公園化整備	実施済。		削除。
(仮称) 史跡センターの建設	実施済。		削除。

c) 市内文化財・観光スポットとのネットワーク化と情報発信			
サインの統一化	統一を図っている。	継続していく必要がある。	継続。
周辺散策路整備、散策マップの発行	小牧駅から小牧山北東部に繋がる道は歩道が整備された。城下町マップ、上街道マップを発行している。	マップは新発見等があれば情報を更新していく必要がある。	継続。
城下町、宿場町等の歴史的景観整備	未着手。	実施困難である。	削除。現状から、歴史的景観整備できる部分がない。
情報の収集・発信	実施している。	継続していく必要がある。	継続。

8. 基本構想			
旧基本構想掲出事項	実施状況	課題	修正基本構想における取り扱い
8-1. 文化財保全整備計画			
(1) 史跡の調査および保全整備の考え方			
a) 史跡の調査および整備の方向			
①国指定史跡としての整備	実施している。	継続していく必要がある。	継続。
②発掘調査等に基づく計画立案・整備	実施している。	継続していく必要がある。	継続。
③小牧・長久手の合戦時（天正12年） を主とした調査・整備	実施している。	継続していく必要がある。	継続。
b) 小牧山の整備			
①各既存施設の見直し	実施している。	継続していく必要がある。	継続。
②樹林環境等の保全と発掘調査・整備 の両立	実施している。	継続していく必要がある。	継続。
③目標公開時期の設定	整備スケジュールを設けている。	継続していく必要がある。	継続。
④緑地管理および遺構修復	緑地管理は日常管理を実施している。	継続していく必要がある。	継続。

c) 小牧山周辺整備およびその他			
①総合的な時代認識システムの整備と歴史散策ネットワークの構築			
城下町遺構、小牧・長久手の合戦の砦跡、小牧宿、木曾街道等の調査を進める。	城下町における周知の埋蔵文化財包蔵地では、開発に伴う発掘調査は実施している。他は未着手。	発掘調査は、開発が伴わないと実施困難。	継続。
②歴史文化拠点としての施設整備			
歴史博物館機能、ガイダンスセンター機能等を持った施設の整備を行い、積極的な情報の収集、展示や調査研究活動を推進する。	未着手。歴史博物館機能は小牧市歴史館が担っている。	検討する必要がある。	継続。
③展示・解説の工夫			
一般の人々から専門家まで理解が深められるよう、様々な表現（ジオラマ、イラスト等）を駆使した複合型の展示・解説の工夫を行う。	上記施設未設置のため未着手。	施設設置時は検討する必要がある。	継続。
④市民の支持・支援体制の強化			
小牧山及び周辺の歴史資産価値を周知し、保全整備を円滑に行うため、積極的なPRを行う。	小牧山の価値や整備事業については周知、PRしている。	継続していく必要がある。	継続。
市民の支持・支援を啓発するとともに、市民が積極的に参加できるシステム作りをめざす。	発掘調査説明会や小牧山城史跡情報館等で小牧山などに関する展示を行っている。	継続していく必要がある。	継続。

(2) 史跡修復整備計画				
地区	旧基本構想掲出事項	実施状況	課題	修正基本構想における取り扱い
a) 主 郭 地 区	主郭部（曲輪 001）			
	主要部の発掘調査を行い、その成果に基づいた表示整備を行う。	発掘調査は終了している。 整備は一部着手している。	整備を進めていく必要がある。	整備については継続。
	織田時代と推定される石垣の分布を確認するための発掘調査を実施し、その成果に基づき、石垣の修復・復元を実施する。	発掘調査は終了している。 整備は一部着手している。	整備を進めていく必要がある。	整備については継続。
	主郭周辺の曲輪群			
	散策ルートに接する曲輪群のうち重要なものに発掘調査を行い、その成果に基づいた修復・表示整備を行う。	一部で発掘調査を実施している。整備は未着手。	継続していく必要がある。	継続。
	大手道			
	大手道に沿って発掘調査を実施し、その成果に基づいた修復・表示整備を行うとともに、斜面の崩落防止柵を講じる。	一部で試掘調査を実施している。	継続していく必要がある。	継続。

a) 主郭地区	堀・土橋			
	南北の堀（Ⅰ）および土橋（虎口 a）を発掘調査し、修復・表示整備を行う。	一部で発掘調査を実施している。整備は未着手。	継続していく必要がある。	継続。
	虎口			
	主郭地区北部（虎口 d）および東南部（虎口 c）に想定される虎口について発掘調査を行い、修復・表示整備を行う。	発掘調査は実施している。整備は計画している。	整備を進めていく必要がある。	整備については継続。
b) 西側曲輪地区	散策ルートに沿った重要な曲輪について、限定された発掘調査を実施し、緑を生かした修復・表示整備を行う。	未着手。	なし。	継続。
c) 大手曲輪地区	南部地区（桜の馬場を中心とする曲輪群）			
	主要な曲輪・空堀・土塁に発掘調査を実施し、修復・表示整備を行う。	未着手。	なし。	継続。
	大手口一帯			
	市役所本庁舎を史跡外へ移転し、庁舎建設による史跡損壊箇所は、資料をもとに、かつての大手口の雰囲気が見えるよう修景整備を行う。	実施済。		市役所跡地については削除。それ以外の部分については、発掘調査を実施し、修復・表示整備を行うこととする。

d) 西側谷地区	未調査の地区上部を発掘調査し、修復・表示整備を行う。	未着手。	なし。	継続。
e) 帯曲輪地区	東麓・小牧中学校跡			
	重要な土塁・空堀・帯曲輪について発掘調査を実施し、修復・表示整備を行う。	実施済。		削除。
	虎口（f・g）、帯曲輪（402・403・404）について立体的な展示や表示を工夫する。	実施済であるが、虎口gは平面表示とした。		削除。
	北麓			
	排水施設埋設にともない陥没した部分等を利用した、土塁の断面展示などの工夫を行う。	実施済。		削除。

e) 帯	西麓			
曲輪 地区	虎口（i）周辺部に発掘調査を実施し、その成果により修復・表示整備を行う。	未着手。	なし。	継続。
	戦時中に改変された土塁・堀部分には限定された発掘調査を実施し、修復を実施する。	未着手。	なし。	継続。
	堀に堆積している防空壕排土の撤去、防空壕陥没穴の埋戻しを行う。	未着手。	排土の除去に課題はないが、防空壕については整備を検討する必要がある。	排土の撤去については継続。防空壕については、限定した発掘調査を実施し、修復・実施整備を行うこととする。

8-2. 土地利用計画					
ゾーン名	エリア名	旧基本構想掲出事項	実施状況及び関連計画	課題	修正基本構想における取り扱い
(1) 城郭展示ゾーン	①主郭展示エリア	トイレを含む既存公園施設の撤去	トイレ、倉庫撤去済。	継続していく必要がある。	継続。
		メインの休息・展望園地機能を確保	歴史館内に無料スペースを設け、ベンチを設置。	樹木の伐採を行う必要がある。	継続。
		発掘調査に基づいた修復・表示整備	発掘調査はほぼ終了し、一部で整備に着手。	なし。	継続。
		南部曲輪群は、現状維持を基本としつつ、下草刈りや見学通路の確保等の整備による遺構表示	未着手。	発掘調査終了部分では、想定外の遺構分布があったので、この部分でも発掘調査の実施を検討する必要がある。	このような整備を行う部分と発掘調査を行う部分を精査する必要がある。
	②西側曲輪展示エリア	発掘調査に基づいた、曲輪・土塁・空堀等の修復・表示整備	未着手。	なし。	継続。
		曲輪周辺部は現状維持を基本とするが、下草刈りや見学通路の確保等の整備による遺構表示	未着手。	主郭展示エリアにおける発掘調査で、想定外の遺構分布があったので、この部分でも発掘調査の実施を検討する必要がある。	継続。このような整備を行う部分と発掘調査を行う部分を精査する必要がある。
		既存園路の見直し	未着手。	なし。	継続。
	③大手道エリア	発掘調査に基づいた、修復、表示整備・景観整備	一部で試掘調査実施。	なし。	継続。
		下草刈りや見学通路の確保等の整備による遺構表示	下草刈りは実施している。	継続していく必要がある。	継続。

(2) 史跡園地ゾーン	④ 既設搦手整備エリア	搦手口、土塁の遺構整備、修景整備が行われている	存続している。	現行基本構想策定以後の整備と手法が異なっている。また、整備後30年が経過し、施設の老朽化、樹木の巨木化などの現状があり、再整備を検討する必要がある。	再整備の実施を検討する。	
	⑤ 桜の馬場エリア	既存機能を活かしつつ、既存公園施設、園路等の見直し、整備	遊具、ベンチ等の状況調査を行っている。	老朽化している施設が多く、見直していく必要がある。	継続。	
	⑥ 市役所跡エリア	市役所本庁舎の移転	終了。			削除。
		大手口付近の松等の植栽を含む修景整備 エントランス広場・駐車場、休息園地整備等	終了、松は植樹していない。 終了、駐車場は整備していない。			削除。 削除。
	⑦ 小牧中学校跡地エリア	遺構整備と合わせて（仮称）史跡センター、駐車場等の付帯施設を整備 虎口表示と合わせて、エントランス整備	終了、駐車場は設置していない。 終了。			削除。 削除。
(3) 史跡緑地ゾーン	⑧ 遺構・樹林保全エリア	樹林の保全を前提とし、遺構の保全、特徴的な地形の保全	未着手。	なし。	継続。	
		適切な緑地の管理を行いながら、既存樹林の保全	一部で樹木の択伐を実施。	なし。	継続。	
		西側の土塁・空堀・虎口・曲輪等については、必要に応じて発掘調査を行い、修復・表示整備	未着手。	なし。	継続。	
		屋敷跡伝承地周辺部は現況保存を基本としつつ、草刈りや見学通路の確保等による遺構表示	西麓園路を仮整備済。説明板は設置済。	なし。	継続。	
(4) 外苑ゾーン	⑨ 歴史民俗・自然学習エリア	清須街道以東の用地の確保	未着手。	現状として困難。	削除。	
		施設・園地等の整備	バス専用駐車場を整備済。	現状として困難。	削除。	
	⑩ 駐車場エリア	駐車場・四阿・園路・流れ・池等が整備されている	存続している。	なし。	削除。	
	⑪ 東北虎口エントランスエリア	用地の確保	未着手。	現状として困難。	削除。	
虎口前の修景・集合広場として整備		未着手。	現状として困難。	削除。		

8-3. 動線・駐車場計画				
施設名	整備計画構想	実施状況	課題	修正基本構想における 取り扱い
a) ゲート	大手道道路交差点部、各虎口、中学校正門跡等既存の出入り口を活かすことを原則としつつ、遺構を活用したゲート整備	中学校正門跡は出入口として整備済。バス専用駐車場に門を設置、遺構に基づくものではない。	なし。	継続。
	既存ゲートのうち、遺構の表示上問題の大きい箇所については閉鎖	名鉄バス西側の入口を閉鎖した。	あえてゲートは設けていないが、地道ができている場所がある。	継続。
	利用者の利便性に配慮したゲート整備	中学校跡地、市役所跡地に整備済。	なし。	継続。
b) 駐車場	中学校校舎跡南側等に、新たに団体利用対応の観光バスおよび身体障害者駐車区画を整備	バス専用駐車場は小牧山南西に設置。	史跡内に駐車場は設置しない。	削除。
	一般利用者駐車場は史跡周辺部に整備	既存の小牧山北駐車場以外は設置していない。	新たに土地が空かない限り現状では整備困難であるが、検討していく必要がある。	継続。
	駐車台数については、国指定史跡としての景観・環境容量の範囲で規模設定	未着手。	同上。	削除。
	計画地の駐車台数不足分については、史跡周辺および市街地の駐車場に依存・連携	このようになっている。	なし。	削除。
c) 管理用車両動線	史跡・樹林等の管理に必要な、管理用車両通行可能な動線を確保	整備済範囲には確保。	現状を超える範囲に確保はできない。	継続。
d) 園路	今後の発掘調査により確認された織田時代や陣城の通路については、極力復元整備	主郭地区で整備予定。	なし。	継続。
	既存園路の舗装等を再整備し活用	未着手。	早期に着手する必要がある園路がある。	継続。
	既存園路に近接した復元園路が整備される場合は、既存園路を廃止	南東部で新管理道を整備し、旧管理道を廃止。	なし。	継続。
	史跡保全を優先しつつ、主要箇所を巡る回遊性の高い園路整備	西麓園路を仮整備済。	なし。	継続。
	歴史民俗・自然学習エリアとの連携を深めるため、必要な園内歩行者動線を確保	西麓園路を仮整備済。	歴史民俗・自然学習エリアの整備が困難である。	削除。
	可能な限りバリアフリー機能も配慮した園路整備	整備済範囲では配慮している部分がある。	なし。	継続。

8-4. 緑地計画				
施設名	整備計画構想	実施状況	課題	修正基本構想における 取り扱い
a) 小牧山 の緑	面としての現況樹林、ランドマークシンボルとしてふさわしい緑塊を保全	主に日常管理のみ。一部で樹木の択伐を実施。	保安林区域内ではそれとの兼ね合いがある。	継続。
	樹林の保全に支障ある倒木は撤去	随時実施。	なし。	継続。
	史跡調査修復範囲は、史跡公園としての景観、環境保全に留意した設定	実施している。	継続していく必要がある。	継続。
	近代公園型の修復修景については、順次自然公園型・歴史公園型への移行	遊具、ベンチの点検を実施し、老朽化したものは撤去している。	継続していく必要がある。。	継続。
	市民レクリエーション拠点にふさわしい在来種の植栽	実施している。	継続していく必要がある。	継続。
	復元史跡周りには、史跡を損傷しない範囲での、必要な歴史背景となる植栽	実施している。	調査成果を元を実施する必要がある。	継続。
	史跡が完全に破壊されたエリアにおいては、ゾーンにふさわしいテーマ性を持った植栽	実施している。	継続していく必要がある。	継続。
	現況林の植生調査を実施	一部実施	継続していく必要がある。	継続。
織豊時代から徳川時代の樹種の詳細調査を実施、展示	未着手。	調査対象を採取できるか疑問である。	条件付きで継続。	

8-5. 景観計画				
施設名	整備計画構想	実施状況継続。	課題	修正基本構想における取り扱い
a) 景観形成地区の設定・眺望点の確保	周辺地域の建築物や構造物の高さ設定、色彩コントロール、緑化を推進	未着手。	現状では実施困難。	削除。
	小牧駅前線やアクセス道路、大手道から城下町にかけてビスタの確保	小牧駅前線では眺望が確保されている。	市役所庁舎などがあり、城下町側からは実施困難。	削除。
	市内主要地点からの小牧山を眺める眺望ポイントの整備	ラピオ5階（小牧駅西側の公共施設）で設置されている。	現状、見えるところからは小牧山は見えるので、あえて整備する必要はない。	削除。
b) 緑地の保全と歴史的景観の創出	タブノキ等の照葉樹林の保全	日常管理のみ。	保安林区域内ではそれとの兼ね合いがある。	課題を踏まえて継続。
	テーマ性を持った植栽、施設づくりを行い、歴史的雰囲気の高い景観形成	未着手。	保安林区域内ではそれとの兼ね合いがある。施設は作らない。	課題を踏まえて、景観形成を継続。
	土塁、虎口等の保全・修復、史跡周辺の景観誘導により、小牧山を核とした歴史性を強調した魅力的なエリア整備	整備済部分では実施。	継続していく必要がある。	継続。
	歴史散策ルート沿い景観整備の誘導	小牧駅～小牧山間に信長ロードを設置。	継続していく必要がある。	継続。
c) 展望点の確保	山頂部を小牧市の最も重要な展望拠点として保全・活用	歴史館展望室あり。	樹木を伐採する必要がある。	継続。
	利用上必要な園地からの展望機能を確保	曲輪402西側に設置。	継続していく必要がある。	継続。
	夜景眺望地点として必要な整備	山頂部樹木伐採実施。	下記の課題から、あえて夜景眺望を考える必要はない。	削除。
	（主要ゲートから歴史館までの夜間利用ができるルート整備）	未着手。	照明灯の設置など現状から常設のものを積極的に整備しにくい。	削除。
	（歴史館夜間開放）	以前は、夏季の土日に実施していた。	現状から再開しにくい。あえて掲出する必要はない。	削除。